

学校評価シートにご協力いただき、ありがとうございました。「6 その他、要望など」にいただきましたご意見・要望や質問等について、学校では次のように考えております。

なお、昨年度までは、記名されている方には個別に回答させていただいておりましたが、今年度より一括で回答してまいります。

○学校評価シートでの質問・意見、およびその回答を皆さんでできる限り共有できないでしょうか。昨年は名前を記載した保護者には直接ご回答いただき、ありがとうございました。また、無記名の質問意見は評価シートのまとめに掲載していただきました。より多くの情報を皆さんと共有する目的で、名前のあるものも掲載していただいていたかどうか。掲載が差し支える方には、その旨、申し出ていただいていたかどうか。

→ありがとうございます。個別に回答することで、似たような質問が、過去にも出ております。学校としても共有することは大切と考えます。本年度より、このような形で一括して回答してまいります。

○山留保護者の参観や学級懇談会参加、担任の先生との面談等、リモート対応を希望します。

→通常、直接の参観が可能である状況の場合は、原則リモート対応は行いません。ただし、感染防止対策として県外都市部居住の保護者が直接来校参観することが不可となった場合等特別な事情がある時に限り、学校側の対応可能な範囲でオンラインツールを用いた参加を可能とします。

尚、学校の情報機器及び人的環境において、全てに対応できるわけではないことをご承知おき下さい。

○支援学級を受けやすい体制を作って欲しい。

→美麻小中学校には、「自閉症・情緒障害」と「知的障害」の2つずつの特別支援学級があり、子どもが一人ひとりに応じた教育を受けることができるように設置された少人数のクラスです。1クラスの人数は国基準で8人とされています。

入級に関しては、本人や保護者の困り感や学校での学びにくさ等を保護者と学校で相談します。お子さんの障がいの状態、本人・保護者の意見、専門家の意見等を総合的に判断しながら、校内就学支援委員会を経て、最終的には大町市教育支援委員会によって判断され、入級となります。

特別支援学級への入級を見越した体験的な利用はあるかもしれませんが、医療の診断や判定等がされていないお子さんが、すぐに支援を受けられる態勢にはないことをご理解ください。

○廊下に出されるのは体罰のように感じて、先生たちが大嫌いになったというので、やめてもらいたい。感情的に対応するのは発達障害の子どもの場合でなくても、心が傷つくのでやめてほしい。特にその子

の特性や発達のことを自閉症スペクトラムについて、理解できる勉強会などを支援級の先生方と原級の先生で開いて学んで欲しい。

→この件に関しては、保護者の方と副校長で話しをいたしました。

一般的な話しをすると、落ちつかず、奇声を上げたり、暴れたりしまう原因には、他からの刺激が多くあります。友だちから気に触ることを言われたり、ちょっかいを出されたりすることで嫌な思いをしたり、子どもの中には課題が多かったり難しかったりした場合にも同様な行動が表れてしまいます。その場合、その子が落ち着くために、クールダウンできるように様々な支援をしています。教室をグルグル回っている間に落ち着ける子、教室の後ろや廊下で静かにしている内に落ち着ける子、別室で個別に対応したりなど、お子さんや状況によって様々です。

他のお子さんの学習の保障をすることや、その子自身ができるだけ早くクールダウンできるように環境を変えてあげる（刺激から遠ざける）ために、教室を離れることがあります。

発達障がい理解に関しては、特別支援コーディネーターを中心に研修会を開いております。また、今年度は、PTA講演会でも子ども理解を学びました。さらなる研修を進めていきたいと思っております。

○梨の木祭後のテストはかわいそうでした。勉強時間の確保ができませんでした。日頃の復習をすればよいのですが…。

→梨の木祭に全力を注ぐ子どもたちの姿を見ると、勉強に集中できる期間をつくってあげたいと思います。ただ、延ばすと期末テストまでの間隔が短くなるため、年間を通してテストを分散していることもご承知おき下さい。また、9年生は中間・期末テストの間に総合テストもあるため、全体のバランスも考慮しております。

どのお子さんも同じ条件で行っております。行事や休日等の日程的なものもあり、来年度、うまく調整できるか分かりませんが、学校としても子どもたちが全力を出せる環境をつくっていききたいと考えております。

○美麻小中学校はとても良いのですが、保護者が介入しすぎてしまうのは子どもの自立心を妨げてしまうのではないかと思います。ボランティア等はとても良いのですが、学校と家庭を分別して家庭のルールは学校に持ち込んでほしくないなと最近思います。生徒さんが増えるのはとてもいいことだし、お友達がたくさんできれば子どもは色々吸収しますが、学校に何でも発言してよいと勘違いしている保護者もいらっしゃるように見受けられます。そうなってくると統率が取れず、ブレてしまうのではないかと心配しています。

→具体的にどの部分を指しているのか分かりませんが、学校を心配してくださる声に感謝です。また、保護者の皆様が様々なことで不安や心配を抱えているとも思いますので、まずは、相談いただき、一緒に考えていくことができればよいと思います。

○制服、カバン、上履きなどについては、極力制限をなくしていただければと思います。

○制服の意義について話し合う場があると良い。(制服の値上がり、コロナによる経済的困窮、J期2年間のみの着用、寒暖の激しい土地柄、多様な個を受け入れる校風との相違、制服着用と美麻プライドを結びつける違和感など)

→ジェンダーや感覚過敏等によって、個別には対応を行っております。

平成29年度に義務教育学校となることに合わせ、平成28度より「制服検討委員会」を立ち上げ、PTA役員の皆様にもご意見をいただきながら検討し、さらに、保護者に対して「制服変更に関する説明会」を開催してきた経緯があります。

当時の保護者宛て通知には、次のことが書かれています。

制服を新しくすることによって、新しく踏み出す41年目の新生美麻小中学校が、保護者の方にも地域の方にも目に見えて分かり、子どもたちには、美麻小中学校の新しい門出を新鮮な気持ちで迎えられ、それが、美麻小中学校に通う誇りとなっていくと考えた。ぜひ、「美麻プライド」をもって

また、当時の検討委員会の中で、5年生のステップ期から、指定のズボンとスカート(J期のもの)にするという案もありましたが、経済的負担が大きいという理由で、現行の形になっているようです。

義務教育学校となって5年目です。平成26年に小中一貫校、平成29年に義務教育学校となりました。その間、学校運営協議会も創設され、地域と共に創られてきた美麻小中学校です。

制服等、年々、購入金額が高くなっていることは、承知しております。PTA主催の「おさがり交換会」も積極的にご活用ください。お金がかかるから無くすのではなく、制服がより輝くように、美麻小中学校の子どもたちのためにご協力いただけますように、お願い申し上げます。

○お便りをメールで送っていただくかHPへの掲載をご検討いただけないでしょうか。HPに学年のお便りのフォルダがありますが今年が入っていないようです。HPでもメールでも結構ですので、学校からの連絡が親元に確実に届く方法をご検討いただけるとありがたいです。(お便りの出し忘れ、他の子がもらっているお便りが無い、同じものを2枚もらってくる、ということがあります)

→学年だよりのHPへの掲載は行いません。学校だよりをHPにて公開していますが、子どもの名前・写真等に配慮するあまり、生き生きとした文章にならない場合があります。写真に関しても拡大されてもはっきりしないように、かなり小さく(基本的にマスク、横向き、後ろ姿)載せています。学級便りは、学級での生き生きとした姿を伝えるべく、個人名や大きな顔写真が載ります。これは、紙ベースで保護者にしか配付しておりません。

また、メールですが、大町市の情報配信メールにて、文章のみを配信しています。お便りのようなものを添付することができません。

学校側の配付ミスについては注意してまいります。ぜひ、ご家庭では配布された物を提出するよう

な指導をお願いします。

○chrome book の活用法で、授業中に安易な使い方をしていることもあるように思う。検索して見つかった情報をそのまま鵜呑みにし、貼り付けただけで調べ学習ができたと思うような学習にしてほしくないと思う。

→導入されて間もないので、このような使い方も各学年で見られます。ただ、本校の強さは、それをそのまま発表しても、協働の学びの中で友だちから質問され、答えられない自分に気づくことがあります。情報リテラシーでも、ネット上の情報が全て正しいとは限らないという学習も進めています。保護者の皆様も、ご家庭での様々な検索等の際に、「これが正しいとは限らない」ということを子どもたちに教えていただけたら、ありがたいです。

○特認校の生徒が、美麻の子と同じように、部活動や放課後の活動に参加できる環境を整えて欲しい。

→昨年度、5・6年生の部活動体験で、16:32の市民バスで下校する特認校のお子さんは、ほとんど参加できませんでした。保護者がお迎えいただけのご家庭だけが参加できる状態でした。本年度はそれを改善すべく、5・6年生の部活動体験の日を5時間授業として、しっかりと活動時間を確保しました。

特に、冬場はスクールバスの下校17:10に合わせて、学校の活動が組まれています。その時間帯に市民バスがないため、活動が制限されてしまいます。できる限り、特認校のお子さんと美麻地区のお子さんとの活動できる違いが出ないように配慮はしてまいります。特認校制度を利用する場合、通学に関しては「通学は、保護者の責任と負担において行わなければならない。(大町市学校小規模特認校制度実施要綱 第5(2))」の通り、送り迎えをお願いする場合もあることを、ご承知おき下さい。

ご意見の中に感謝の言葉が多くありました。

- ・今後とも宜しくお願い致します。
- ・いつもお世話になっております。
- ・部活動については、外部コーチによる手厚いご指導をいただき、本当に感謝しております。
- ・美麻の学校で学んでいることをとても嬉しく思っています。今後ともよろしく申し上げます。
- ・互いに個別性を認め合い、それぞれが「自律」できる環境を、保護者を含めた皆さんでつくっていただけたらと思います。
- ・学校での託児や特認校地区PTA発足など、保護者からの意見や提案を受けて学校側が動くスピードが速くていいと思う。

今後も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いします。さらにご意見がありましたら、遠慮なく学校にお問い合わせください。